学校番号	3003

令和８年度　自立支援コース

教科	(学) 自立学科	科目	(学) 自立学習	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自立学習では挨拶や報告など職場での基本行動を徹底します。３年生となり就労を目前に控えた今、職場実習を通じて、毎日の活動で自分の考えを正確に伝え、適切な人間関係を築く力を実践します。個人の活動では目標達成へ向け粘り強く取り組み、集団の活動では互いに協働しながら社会人としての力を磨き、実習での学びを将来の確かな自立へつなげていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

模擬職場実習や将来の就労を見据え、社会人として通用する適切な挨拶や確実な報告・連絡・相談を習慣化し、的確に実践している。

【思考力、判断力、表現力等】

日々の活動の取り組みを客観的に振返り、課題や改善点を自ら見出す努力ができる。また、自分の気持ちや考えを状況や相手に応じて正確かつ適切に伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

個人の活動において、進路実現に向けた目標を意識し、困難な課題に対しても粘り強く前向きに取り組もうとしている。また、集団活動を意識した活動において、互いの役割を理解し、協働しながら主体的に取り組もうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	あいさつや報告・連絡・相談など、模擬職場実習や就労の場で求められる基本行動を正しく理解し、自ら進んで確実に実践することができる。	日々の活動や職場実習の取り組みを深く内省し、自らの考えを状況や相手に応じて、正確かつ根拠を持って伝えることができる。	個人の活動において進路実現に向けた目標を掲げて困難な課題にも粘り強く取り組み、集団の活動においては互いの役割を理解し、協働しながら主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	学校生活の基礎を身に付ける	職場実習や将来の就労で求められる挨拶、返事、報告・連絡・相談の確実な仕方を定着させる。実習や日々の活動を内省し、自らの考えを状況や相手に応じて正確かつ根拠を持って伝える練習を行う。進路実現に向けた目標を意識して自立的に取り組む態度を身に付ける。	a: あいさつや返事、報告・連絡・相談を、場面に応じて行うことができる。 b: 学校生活を振り返り、自分の気持ちや考えを相手に分かりやすく伝えることができる。 c: 個人での活動において、目標を意識しながら前向きに取り組もうとしている。	日常場面での行動観察、あいさつ・返事・報告等の実施状況	振り返り記録、面談時の発言	授業中の取り組み、学習記録、活動への参加状況
2学期	人との関わり方を深める	集団での活動を通して、組織の役割を理解し、職場を意識した確実な報告や相談ができるようにする。自分の気持ちや考えを、状況や相手に応じて正確に伝える練習を行う。仲間と主体的に協働しながら活動することで、社会で必要な連携方法を学ぶ。	a: 会話や集団活動の中で、適切に返事をしたり、必要なときに相談したりすることができる。 b: 相手や場面に応じて、自分の気持ちや考えを分かりやすく伝えることができる。 c: 集団での活動において、他者と協力しながら積極的に取り組もうとしている。	グループ活動での発言や応答、指示理解の様子、行動観察	活動後の振り返りカード、発表、自己評価シート	協力場面での様子、役割への取り組み、継続的な参加状況
3学期	学びを振り返り、今後につなげる	3年間の学習を振返り、自らの確かな成長や就労に向けた最終課題を確認する。学校生活で定着させたコミュニケーションの力を、卒業後の豊かな社会人生活にどう生かすかを考える。個人・集団の両面で、自立した社会人として主体的に活動する力をまとめる。	a: これまで学んだあいさつ、返事、報告・連絡・相談を、安定して行うことができる。 b: ３年間の学校生活を振り返り、自分の成長や課題を整理して表現することができる。 c: これまでの学習を生かし、今後も前向きに取り組もうとする姿勢が見られる。	日常的な行動観察、実技的なやり取り、学習記録	年間の振り返りシート、発表、面談での受け答え	1年間の取り組み状況、提出物、活動参加の継続性、自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度